

松山への修学旅行 10倍

6/11毎月



ペンとメモ帳を手にと道後温泉付近で吟行体験を楽しむ修学旅行生ら―松山市道後湯之町で10日午前10時33分

松山市の修学旅行誘致が好調だ。訪れる小中高校の数は、数年前までの年間3、4校から、今年度は予定を含め30校以上と、10倍近くにまで急増。ミカン狩りや俳句など独自の自然や歴史文化を生かした体験型のメニュー開発や、チャーター船での移動時間大幅短縮による広島からの誘導など、あれやこれやの呼び込み策が効果を生んでいるようだ。

市観光産業振興課によると、06年度の市への修学旅行は4校。05年以前も年間3、4校

ミカン狩り、俳句…「体験型」奏功

程度状況だった。

低迷を打開しようと市は07年度から、誘致を本格展開。離島の中島のミカン収穫や投げ釣り、市街地での俳句吟行や道後散策、とべ動物園(砥部町)での環境学習など、近隣

「目標年間50校」

市町も巻き込んで独自のメニューを開発した。

**「広島」狙い
呼び込みも**

更に、平和学習で多数の修学旅行客が訪れる広島からの誘導にも狙いを定め、旅客船会社の協力を取り付けてチャーター船を利用できる環境を整備。広島―松山間を最速70分で結び、3〜4時間かかるしまなみ海道回りのバスより格段に早いルートを実現させた。

社

これらを基に学校や旅行会社に売り込みをかけ、07年度には9校、08年度24校と順調に学校数を伸ばし、09年度は30校約3000人が訪れ、今年度も30校以上約5000人が訪れる見込みという。

同課は「メニューの充実や受け入れ態勢づくりを進めながら、年間50校を目標に誘致したい」と意気込む。

JTB中国四国広報室の辻孝和室長は「体験型を求める学校側のニーズに合致したことや、広島を合わせた

【中村敦茂】